Pioneer

ミニディスクレコーダー

MJ-NS1

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機のご使用の前に最後までお読みください。
特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」、「安全上のご注意」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

本製品はコンパクトミニコンポーネント **X-NS1** の専用オプションです。
単独では動作しません。必ず **X-NS1** と組み合わせてご使用ください。
また、システム部の取扱説明については、**X-NS1** の取扱説明書をご覧ください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

目次

準　備

MD を聞く

MD に録音する

編集機能を使う

付　録

安全上のご注意

⚠警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐにシステムの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部にに水や異物等が入った場合は、まずシステムの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この製品を落としたりキャビネットを破損した場合は、システムの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔使用環境〕

この製品に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。

風呂場等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

決められた機器以外と接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

この製品を使用できるのは日本国内のみです。

〔使用方法〕

この製品のキャビネットを開けたり、改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

〔使用方法〕

システムの電源のコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、ひっぱったりするとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
コードが傷ついたときは（芯線の露出・断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

〔電源スイッチについて〕

プラグを抜け

システムの電源スイッチを切っても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

プラグを抜けるように

電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。

〔設置〕

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

⚠注意

〔設置〕

直射日光の当たる場所や、暖房機器の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、スピーカーが故障する原因となります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

この製品の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

この製品を接続するときは、本機とシステムの取扱説明書をよく読み、システムの電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

〔使用方法〕

お子様がこの製品の開口部に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

お手入れのときは、安全のためシステムの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やけがの原因となることがあります。

〔保守・点検〕

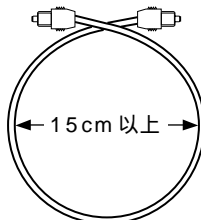
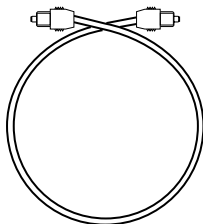
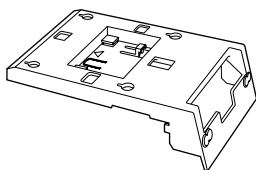
保守・点検

５年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

光ケーブル取り扱い上の注意

光ケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が15cm以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。

付属品の確認

光ケーブル　　スタンド A

スタンド B

取扱説明書（本書）
保証書
ご相談窓口・修理窓口のご案内
安全上のご注意

設置と接続

設置について

本機は、次の 2 つの設置方法に対応しています。

1 スタンド A とスタンド B を取り付けて（7、8 ページ）、縦置きをする。

2 スタンド A を取り付けて（7 ページ）、壁にかける。

詳しくは **X-NS1** の取扱説明書をご覧ください。

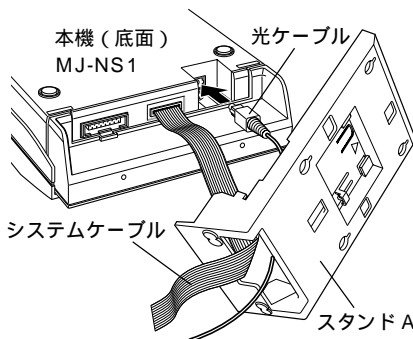
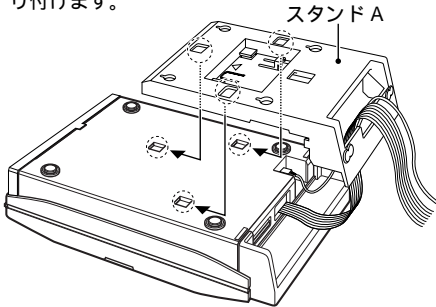
接続のしかた

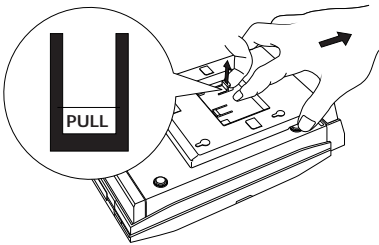
本機（MJ-NS1）は、コンパクトミニコンポーネント X-NS1 の専用オプションのミニディスクレコーダーです。本機は、CD チューナー XC-NS1 と接続します。
（別売オプションの CD レコーダー PDR-NS1 をお持ちの方は、本機を PDR-NS1 と接続し、PDR-NS1 を XC-NS1 に接続します。）

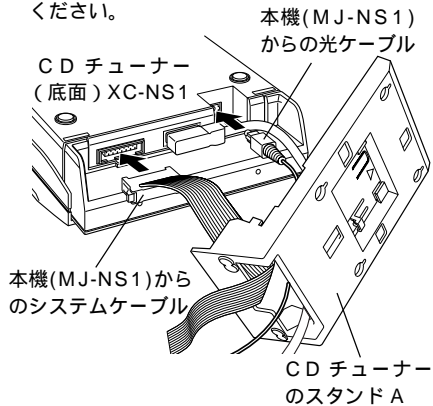
システム全体の接続については、X-NS1 の取扱説明書をご覧ください。

注 意

◆ **接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ずシステムの電源コードを抜いてください。電源コードはすべての接続が終ってから壁のコンセントに接続してください。**

1. 本機(MJ-NS1)のシステムケーブルと付属の光ケーブルをスタンド A に通し、光ケーブルの片側を本機に接続します。

光ケーブル

光端子は、防塵キャップを引き抜いてから光ケーブルを差し込みます。
光ケーブルは、急角度に折り曲げないでください。

2. 本機(MJ-NS1)の裏側にスタンドAを取り付けます。

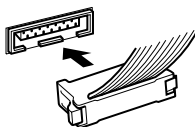
本機の裏側とスタンドAの“A”と表示されている部分(3ヵ所)をそれぞれ合わせてから取り付けます。

システムケーブルを、本体とスタンドAとの間に入れ込むことができます。(スタンドAは確実に取り付けてください。)

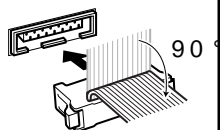
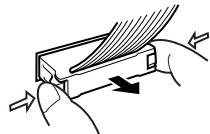
スタンドAをはずすときは、
スタンドAの**PULL**と書かれてある部分を持ち上げながら、スタンドAを矢印の方向にスライドさせます。

3. 接続用システムケーブルと光ケーブルのもう片側を、CDチューナーに(CDレコーダーPDR-NS1をお持ちの方はPDR-NS1に)接続します。

ケーブル類は、スタンドAを取り付ける前に接続します。この場合、下図のように、あらかじめケーブル類をスタンドAに通しておいてください。

メモ

▼ 別売オプションのCDレコーダーPDR-NS1をお持ちの方は、本機のシステムケーブルおよび光ケーブルをPDR-NS1に接続し、PDR-NS1からのシステムケーブルをXC-NS1に接続してください。
▼ すでにCDチューナーXC-NS1またはCDレコーダーPDR-NS1のコネクターにカセットデッキCT-NS1が接続されている場合は、CT-NS1からのシステムケーブルをはずして本機の空きコネクターに接続してください。

システムケーブル

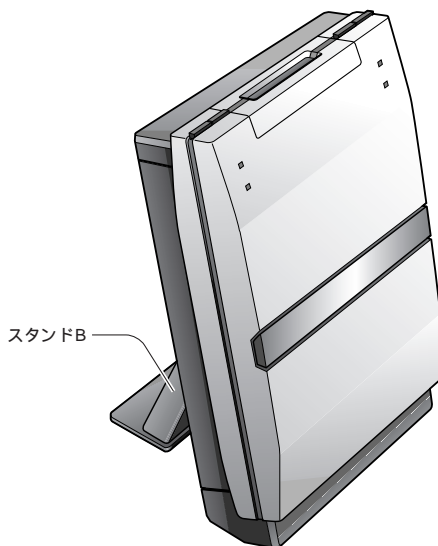
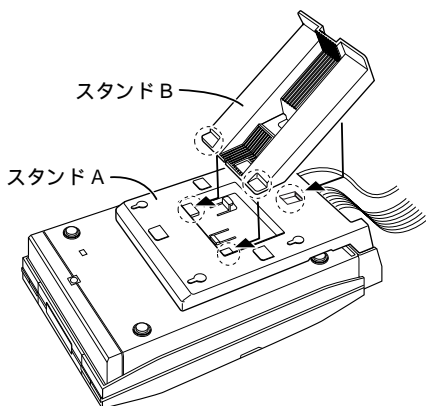
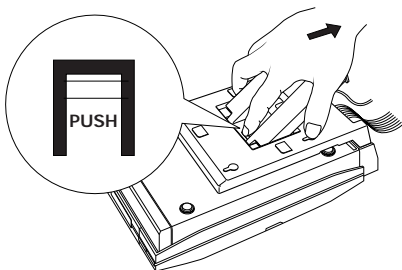
⚠注意

システムケーブルのコネクターを着脱する際は、電源コードを壁のコンセントから、必ずはずしてください。電源コードをコンセントに接続したままコネクターの着脱を行うと、機器が故障する恐れがあります。

接続するときは、
ケーブルが上に出る向きで**カチッと音がするまで確実に差し込んでください。**

差し込みにくい場合は、
右図のようにケーブルの根元を90度に折り曲げると容易に差し込めます。

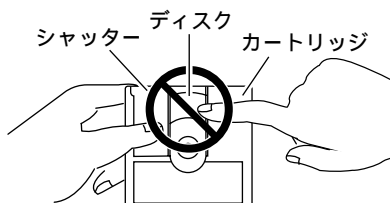
はずすときは、
両横の突起を押し込みながら引き抜いてください。

4. 手順2と同様にして、スタンドAをCDチューナーXC-NS1に取り付けます。

5. スタンドAにスタンドBを取り付けます。

スタンドAの矢印をスタンドBの矢印に合わせて3ヵ所のフックが入るように取り付けます。
スタンドBを取り付けることによって、本機を卓上に縦置きすることができます。

スタンドBをはずすときは、
スタンドAの**PUSH**と書かれている部分をを押しながら、スタンドBを矢印の方向にスライドさせます。

メ モ

▼ スタンドAを取り付けると、壁に取り付けることができます。取り付け方法と注意事項についてはX-NS1の取扱説明書をご覧ください。

注 意

◆ **組立、取付の不備、取付強度不足、誤使用、天災などによる事故・損傷については、当社は一切責任を負いません。**

ＭＤの取り扱いかた

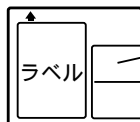
右記マークの付いたディスクをお使いください。

■ ディスクに直接触れないでください。
■ シャッターを無理に開けるとこわれます。
■ 分解しないでください。

ＭＤの種類について

■再生専用と録音・再生用があります。

● **再生専用ＭＤ（録音はできません）**

● **録音・再生用ＭＤ**

■保管

ケースに入れて保管してください。
次のようなところには保管しないでください。

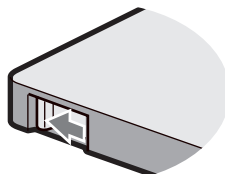
- 高温多湿の場所
- 直射日光が当る場所
- 砂やホコリの入りやすい場所

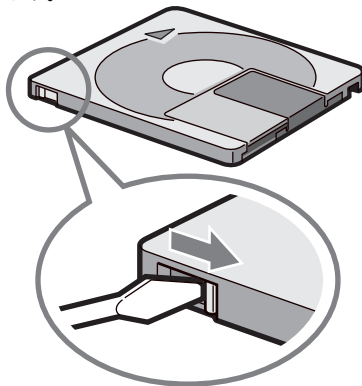
■カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

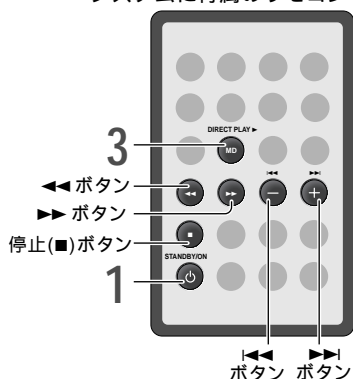
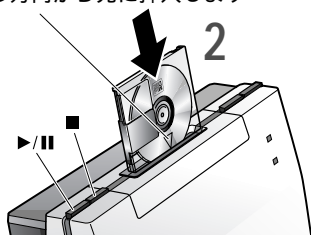
■ラベルの貼り付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、ＭＤが取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼り付けないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

録音したＭＤを誤って消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります（誤消去防止状態）。
再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

「再生専用ＭＤ」には誤消去防止つまみが無く、つまみを開けた状態に固定されています。
また、つまみを開けた状態のＭＤを入れると自動的に演奏を始めます。

MDを聞く

メ モ

▼ MDがセットされていると、電源がオフの時でもリモコンのMDボタンを押すと電源が入り、演奏を開始します。（ダイレクトパワーオン）

▼ 電源がオンの状態で、再生専用MDまたは録音・再生用MDの誤消去防止つまみが開いているMDを挿入すると演奏をはじめます。（スロットインオートプレイ）

1. スタンバイ／オンボタン(⏻)を押して電源を入れます

2. MDを入れます

途中から自動的に引き込まれます。

再生専用MDでは、演奏をはじめます。
録音・再生用MDではMD側面の誤消去防止つまみが開いているときは演奏をはじめます。

3. MDボタン(本体は►/IIボタン)を押します

1曲目から演奏をはじめます。
タイトルが入っているMDでは、曲のタイトルが表示されます。タイトルが入っていない場合は“ NO NAME ”とCDチューナー部に表示されます。
"TAKE FIVE"と曲のタイトルが入力された例

TAKE FIVE ►

演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します

演奏を一時停止するには....

MDボタン(本体は演奏/一時停止(►/II)ボタン)を押します
もう一度押すと、演奏を再開します。

曲の頭出しをするには....

前の曲に戻るときは、|◄◄ ボタンを押します
押した回数だけ曲を飛び越します。演奏中に1回押すと、演奏している曲の頭に戻ります。最初の曲の頭に戻って、さらに押すと最後の曲に飛びます。
次の曲に移るときは、►►| ボタンを押します
押した回数だけ曲を飛び越します。最後の曲で押すと、最初の曲に飛びます。

早送り・早戻しをするには....

早送りするには、演奏中に ►► ボタンを押し続けます
早戻しするには、演奏中に ◄◄ ボタンを押し続けます

繰り返し演奏する(リピート演奏)

システムに付属のリモコン

1曲リピート

REPEAT TRK?

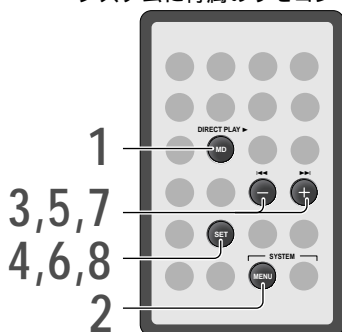
全曲リピート

REPEAT ALL?

解除

REPEAT OFF?

メ モ

▼ 1曲リピート中に⏮ / ⏭ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。

1. **MDボタンを押します**

[1曲を繰り返し演奏する場合には]

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、演奏する曲を選びます。

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU"を選びます**

MD MENU

4. **セットボタンを押します**

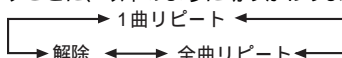
5. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"REPEAT MODE"を選びます**

REPEAT MODE

6. **セットボタンを押します**

7. **⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、1曲リピートか全曲リピートかを選びます**

押すごとに、以下のように切りかわります。

→ 1曲リピート ← 全曲リピート ↔ 解除 → 1曲リピート

1曲リピートは、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
全曲リピートは、MDの全曲を繰り返し演奏します。

8. **セットボタンを押します**

1曲リピート演奏中の表示

MD 4 15:26 RPT-1

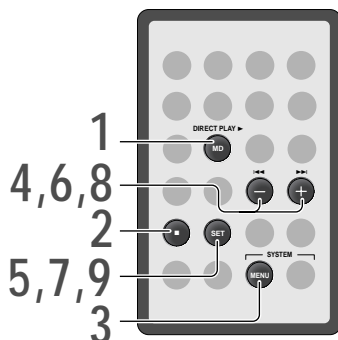
全曲リピート演奏中の表示

MD 4 15:26 RPT

リピート演奏を解除するには

手順7で解除を選ぶか、ディスクを取り出すかまたは、電源をオフにします

好きな曲を好きな順番で演奏する

システムに付属のリモコン

- **プログラム演奏といいます。**
- **最大で24ステップまでプログラム登録することができます。**

1. **MDボタンを押します**

2. **停止(■)ボタンを押します**

3. **システムメニューボタンを押します**

4. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU"を選びます**

MD MENU

5. **セットボタンを押します**

6. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"PROGRAM"を選びます**

PROGRAM

7. **セットボタンを押します**

P01　0:00　PGM

プログラムステップ数　積算演奏時間

8. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、聞きたい曲を選びます**

3　3:43　PGM

曲番号　曲番号の演奏時間

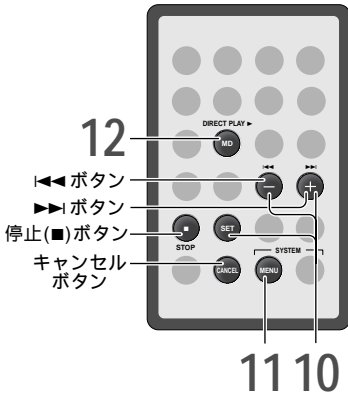
9. **セットボタンを押します**

曲番号

P01　3　PGM

P02　3:34　PGM

プログラムステップ数　積算演奏時間

システムに付属のリモコン

10 手順 8 と 9 を繰り返して、好きな曲を聞きたい順番に登録します

24曲入れると"PGM FULL"を表示して、これ以上入れられないことを知らせます。

登録する曲を間違えた場合は

キャンセル(CANCEL)ボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順番に消えていきます。

11 システムメニューボタンを押します

12 MD ボタンを押します

登録した順に演奏を開始します

メ モ

▼ プログラム演奏中に |◀◀ ボタンまたは▶▶|ボタンを押すと、プログラムされた前の曲または後の曲に移ります。

注 意

◆ **MD を取り出したり電源をオフにすると、プログラムした内容は取り消されます。**

プログラム演奏を解除するには

停止(■)ボタンを押します

プログラム登録した内容を確認するには

停止中に、|◀◀ ボタンまたは ▶▶| ボタンを押します

押すごとに、登録した曲から順に曲番号が表示されます。

プログラム内容確認表示中に、停止(■)ボタンを押すと、登録したプログラムステップ数と総演奏時間を表示します。

プログラム登録した内容をすべて消すには

以下のいずれかの操作をすると登録した内容が消去されます。

- **演奏中に停止(■)ボタンを 2 回押します**
- **停止中に停止(■)ボタンを 1 回押します**
- **録音状態にします**

プログラム演奏中にリピート演奏する

プログラム中にもリピート演奏を設定することができます。1曲リピート演奏と、全曲リピート演奏を設定することができます。（11 ページ）

1曲リピート演奏を設定すると、プログラム演奏中の曲を繰り返し演奏します（1曲プログラムリピート演奏)。また、全曲リピート演奏を設定すると、プログラムの全曲を繰り返し演奏します（全曲プログラムリピート演奏)。

順不同で演奏する(ランダム演奏)

MDから曲を無作為（ランダム）に選んで1回ずつ演奏します。

システムに付属のリモコン

1. **MDボタンを押します**

2. **停止(■)ボタンを押します**

3. **システムメニューボタンを押します**

4. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"MD MENU"を選びます**

MD MENU

5. **セットボタンを押します**

6. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"RANDOM PLAY"を選びます**

RANDOM PLAY

7. **セットボタンを押します**

ランダム演奏を開始します。

MD 6 0:02 RDM

メ モ

▼ ランダム演奏中に ►►| ボタンを押すと、演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。

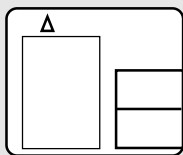
ランダム演奏を解除するには

停止(■)ボタンを押します

ランダム演奏中にリピート演奏する

ランダム中にもリピート演奏を設定することができます。1曲リピート演奏と、全曲リピート演奏を設定することができます。（11 ページ）

1曲リピート演奏を設定すると、ランダム演奏中の曲を繰り返し演奏します（1曲ランダムリピート演奏)。また、全曲リピート演奏を設定すると、ランダム演奏をしながら、MDの全曲を繰り返し演奏します(全曲ランダムリピート演奏)。

MD 録音の基礎知識

TOC（トック）が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。

裏面には録音できません

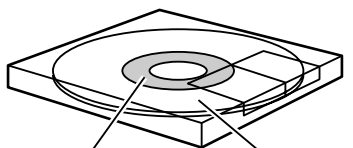
裏に入れようとしても、入らない構造になっています。

録音開始場所を探す必要はありません

録音できる場所を自動的に探して、そこから録音を始めます。

録音前に録音できる時間を確認できます

■ MD に記録される情報（TOC）

演奏や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として TOC を手がかりに動作しています。したがって MD で曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC 情報もディスクに記録しますし、TOC 情報を書き換えたりもしています。
ですから正しく曲の録音作業を行なっても TOC 情報が正しくディスクに書かれない場合は、正しい演奏ができません。

TOC はいつ MD に記録される？

- 録音を停止したとき
- MD を取り出すとき
- 電源を切るとき

TOC を記録するときの注意

- **TOC の記録中に（MD TOC WRITE が点滅中に）電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。**

録音中に停電すると？

- **MD への録音中にコンセントが抜けたり停電すると、そのときの録音内容はすべて消えてしまいます。すでに録音してある MD に録音していた場合は、追加していた部分が消えます。これは、TOC が記録できないためです。**

■ なぜ MD は録音開始前に録音場所を探す必要がないのか？

録音した曲の曲名や曲順、録音場所といった情報を TOC で管理しているからです。ですから TOC 情報を見れば、録音を開始する前に、録音できるディスクの残り時間を知ることができるのです。

■ 次のようなときは録音できません

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MD が誤消去防止状態になっているとき
- MD の録音可能時間が残っていないとき
- "TOC FULL" が表示されたとき
- TOC が異常の時

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿３丁目２０番２号
東京オペラシティタワー１１F
電話　（03）5353－0336
FAX　（03）5353－0337

■ TOC 情報で録音できる時間を確かめる

MD を挿入すると、TOC 情報から録音可能な時間を知ることができます。

■ TOC データがない MD

未使用の録音再生用MDのことで、"BlankDISC"と表示され、ブランク・ディスクともいいます。したがって、使用するMDの種類によって決まる記録可能時間のすべてを録音することができます。

■ TOC データがある MD

録音済の録音・再生用MDまたは再生専用MDで、ディスクの名前が表示されます。最大 100 文字までスクロール（文字が右から左に流れる）表示できます。名前を付けていないディスクでは"NO NAME"と表示されます。
ディスプレイボタンを押すと、ディスク収録総曲数と総演奏時間を表示します。

MD 16 69:02

■ TOC データがいっぱいの MD

MDには、最大で255曲までのTOC情報しか録音できません。したがって、このままでは新たに曲を録音することはできませんので、曲を消去（トラックイレース）するか、全曲消去（オールイレース）してください(34、35 ページ参照)。

■ 曲番号について

MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

■ CD からデジタル録音したとき

CD についている曲番号と同じ所に、1 曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし 4 秒以下の曲がある場合などは、CD の曲番号と録音した MD の曲番号が一致しないことがあります。

■ TUNER（ラジオ放送）から録音したとき

1 回の録音内容を 1 曲として曲番号がつきます。

■ TAPE（カセットデッキ）や AUX（外部機器）から録音したときと CD からアナログ録音した場合

1.5 秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。

- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。
- オートマーク機能を止めて、ひと続きの曲として記録することもできます。（21 ページ参照）

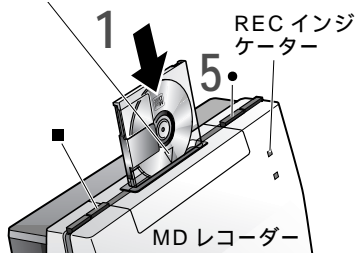
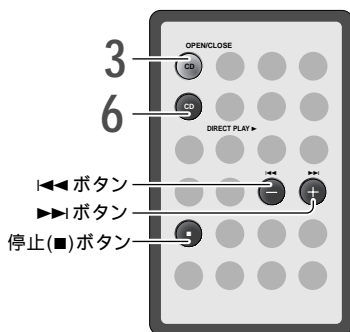
■ デジタルコピーの制限(SCMS)

デジタル入力で録音したものを、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMSにより定められているためです。
このような場合にはアナログ接続で録音してください。
SCMSとは、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)の略で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。ソースによって異なりますが、オリジナルのソースから少なくとも一世代はデジタル信号で録音できます。

■ MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに“TOC（トック） FULL（フル）”が表示されることがある。	MD では、TOC（トック）に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255 曲）になっていなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このような MD は、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。）
MD の最大録音時間になってないのに“DISC（ディスク） FULL（フル）”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ(約 2 秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 （録音中に“DEFECT（デフェクト）”と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。）
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能（31ページ）を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

CD を MD に録音する

システムに付属のリモコン

総曲数表示の例

CD 14　59:47

SYNC　CD　1　0:02

CD を CD チューナーで再生するとき

- MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。(27 ページ参照)
- 誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(9 ページ参照)

1. MD レコーダーに録音用の MD を入れます

途中から自動的に引き込まれます。

2. CD ドアウインドウ開けてディスクをセットします

3. CD ドア開閉ボタン押してドアを閉めます

4. CD の録音したい曲を準備します

[CD の全曲を MD に録音する場合]

表示部の内容が、総曲数・総演奏時間表示になっていることを確認したら、手順 5 に進みます。

[CD の 1 曲だけを MD に録音する場合]

|◀◀ ボタンまたは▶▶| ボタンを押して、録音したい曲を選びます。

[CDの好きな曲だけをMDに録音する場合]

X-NS1の取扱説明書を参照して、CDの好きな曲だけをプログラム登録しておきます。

5. MDレコーダーの録音(●)ボタンを押します

表示部に、**SYNC**が点灯し、録音一時停止状態になります。

6. CDボタン(またはCDチューナーの ▶/❚❚ボタン)を押します

自動的に MD の録音が始まり、CD の演奏が始まります。

- **CD の演奏が終了すると、MD が録音一時停止状態になります。**

続けて録音するには....

CD の演奏が終了して、MD が録音一時停止状態になったとき、ここで CD ディスクを入れ換えて CD ボタン(または CD チューナーの▶/❚❚ボタン)を押します。

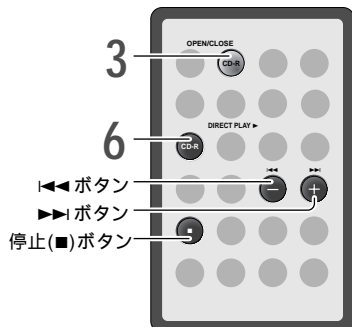
録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

注 意

◆ **CDレコーダーPDR-NS1と接続時、本機では CD からの、MD と CD レコーダーへの同時録音はできません。**

別売のオプションCDレコーダーPDR-NS1でCDを再生して、本機で録音する場合です。

システムに付属のリモコン

CDをCDレコーダーで再生するとき

- MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。（27ページ参照）
- 誤消去防止状態になっているMDには録音できません。（9ページ参照）

1. **MDレコーダーに録音用のMDを入れます**

途中から自動的に引き込まれます。

2. **CDドアウインドウ開けてディスクをセットします**

3. **CD-Rドア開閉ボタン押してドアを閉めます**

4. **CDの録音したい曲を準備します**

[CDの全曲をMDに録音する場合]

表示部の内容が、総曲数・総演奏時間表示になっていることを確認したら、手順5に進みます。

[CDの1曲だけをMDに録音する場合]

|◄◄ ボタンまたは►►| ボタンを押して、録音したい曲を選びます。

[CDの好きな曲だけをMDに録音する場合]

PDR-NS1の取扱説明書を参照して、CDの好きな曲だけをプログラム登録しておきます。

5. **MDレコーダーの録音(●)ボタンを押します**

表示部に、**SYNC**が点灯し、録音一時停止状態になります。

6. **CD-Rボタン(またはCDレコーダーの►/❚❚ボタン)を押します**

自動的にMDの録音が始まり、CDの演奏が始まります。

- **CDの演奏が終了すると、MDが録音一時停止状態になります。**

続けて録音するには....

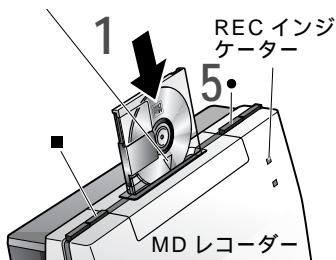
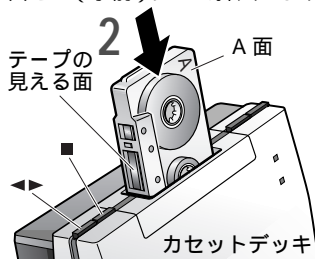
CDの演奏が終了して、MDが録音一時停止状態になったとき、ここでCDディスクを入れ換えてCD-Rボタン(またはCDレコーダーの►/❚❚ボタン)を押します。

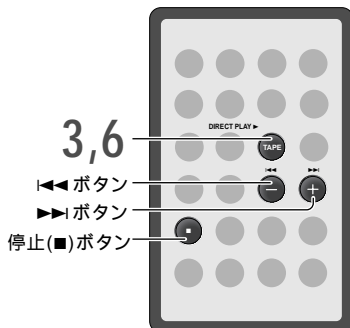
録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

テープを MD に録音する

別売のオプションカセットデッキ CT-NS1 でカセットテープを再生して、本機で録音する場合です。

ラベルを上（手前）にして△マークの方向から先に挿入します

A 面を上（手前）にして挿入します

カセットテープを上記のように入れると、► が A 面、◄ が B 面になります。

システムに付属のリモコン

メ モ

▼ 1.5 秒以上の無音部分があると、曲間として曲番号をつけます。（オートマーク機能）

- MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- テープからの録音は、アナログ録音になります。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。（27 ページ参照）
- 誤消去防止状態になっている MD には録音できません。（9 ページ参照）
- X-NS1 の取扱説明書を参照して、あらかじめドルビー NR やリバースモードを設定しておきます。

1. MD レコーダーに録音用の MD を入れます

途中から自動的に引き込まれます。

2. カセットデッキにカセットテープを入れます

途中から自動的に引き込まれます。

3. TAPEボタン(またはカセットデッキの◄►ボタン) を押して演奏面(A/B)を選び、停止(■)ボタンを押します

TAPEボタン(またはカセットデッキの◄►ボタン) を押したとき、演奏を始める面が逆の場合は、もう一度押すと逆の面が演奏されます。停止(■)ボタンを押してください。

4. テープの録音したい曲を準備します

演奏中に、I◄◄ ボタンまたは ►►I ボタンを押して、録音したい曲の頭出しをしたら、停止(■)ボタンを押して停止させます。

[テープの全曲を MD に録音する場合]

A 面の最初まで巻き戻してから、1 曲目の頭出しをしておきます。

5. MDレコーダーの録音(●)ボタンを押します

表示部に、**SYNC**が点灯し、録音一時停止状態になります。

6. TAPEボタン(またはカセットデッキの◄►ボタン) を押します

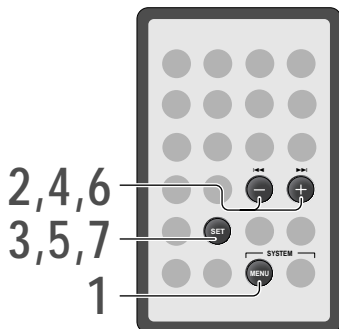
自動的にMDの録音がスタートし、カセットテープの演奏が始まります。

SYNC　TAPE　0002　►　TAPE►

- **テープの演奏が終了すると、MD が録音一時停止状態になります。**
- **テープの演奏時間が MD の録音時間より長い場合は、MD が停止するとテープも停止します。**

- ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビー、DOLBY 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

続けて録音するには....

テープの演奏が終了してMDが録音一時停止状態になったとき、ここでテープを入れ替えてドルビーNRやリバースモードを設定し、TAPEボタン(またはカセットデッキの ◀▶ ボタン）を押します。

録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

曲番号の設定をする

MD では、FM/AM 放送以外のアナログ録音において、録音中に 1.5 秒以上の無音部分があると、自動的に曲番号をつける機能があります。**(オートマーク機能)**
オートマーク機能をオフにして、1 回の録音を 1 つの曲番号で一続きの曲として録音することもできます。(オートマーク機能のオフ)
ただし、CD のデジタル録音では、オートマークのオン / オフに関係なく、演奏側の CD と同じ場所に同じ曲番号が付きます。

システムに付属のリモコン

注 意

- ◆ **オートマークの切り換えは、停止中しかできません。**
- ◆ **オートマークをオフにして録音した後は、オートマークをオンに戻しておくことをおすすめします。**

オートマークオン
A.MARK ON?

オートマークオフ
A.MARK OFF?

1. **MD 停止中に、システムメニューボタンを押します**

2. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU" を選びます**

MD MENU

3. **セット(SET)ボタンを押します**

4. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"AUTO MARK" を選びます**

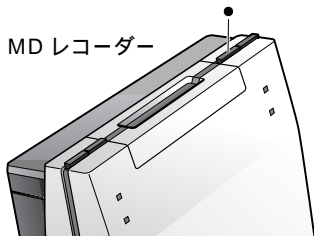
AUTO MARK

5. **セットボタンを押します**

6. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、オートマークのオンかオフかを選びます**

7. **セットボタンを押して決定します**

オートマークオフを選ぶと、表示部から ▶ マークが消えます。

曲番号を追加する

FM/AM放送以外のアナログ録音において、録音中に1.5秒以上の無音部分があると、オートマーク機能により自動的に曲番号をつけますが、それ以外にも自分の好きなところに、曲番号を追加することができます。（録音中のみ可能）
FM/AM放送のように、オートマーク機能がオフのときの録音中でも、自分の好きなところに曲番号を追加することができます。

録音中に、録音(●)ボタンを押します

押した場所から曲番を１つ増やして、別の曲として録音します。

モノラル長時間録音

MDに録音する設定をモノラル録音にすると、ステレオ録音の約２倍の時間で長時間録音することができます。
モノラル演奏の曲やトーク中心の番組などの録音に便利です。
ただしモノラル長時間録音では、ステレオ演奏の曲やステレオ放送の番組でもモノラル録音され、モノラル録音されたMDは、ステレオで演奏できません。

1. **MD停止中に、システムメニューボタンを押します**

2. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU" を選びます**

MD MENU ▸

3. **セットボタンを押します**

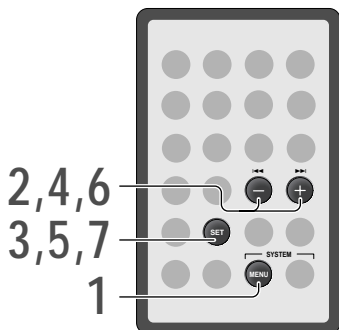
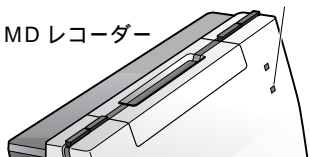
4. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"REC MODE" を選びます**

REC MODE ▸

5. **セットボタンを押します**

6. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MONO" か "STEREO" かを選びます**

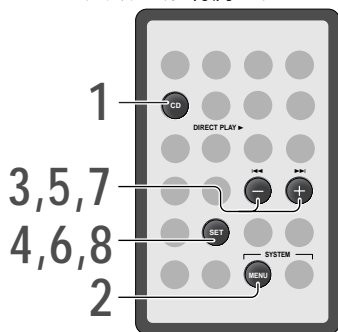
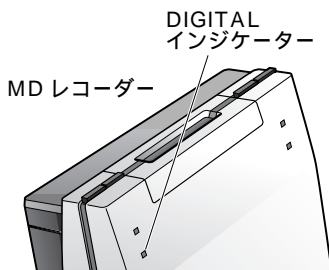
7. **セットボタンを押して決定します**

モノラル長時間録音を選ぶと、**MONO** インジケーターが点灯します。

注 意

◆ **モノラル長時間モードで録音した後は、ステレオ録音に戻しておくことをおすすめします。**

モノラル長時間録音
MONO?
ステレオ録音
STEREO?

アナログ録音モードに切りかえる

CDから録音する場合、デジタルで録音を行うデジタル録音モードと、アナログで録音を行うアナログ録音モードとに切りかえることができます。
デジタル録音されたCD-Rディスクなどは、SCMS（16ページ参照）によりMDなどに再度デジタル録音はできません。アナログ録音モードに切りかえて録音します。

初期状態は、デジタル録音モードになっています。

システムに付属のリモコン

1. CDボタンを押します

CDのモードになります。

2. システムメニューボタンを押します

3. |◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"MD MENU"を選びます

MD MENU ▸

4. セットボタンを押します

5. |◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"INPUT SELECT"を選びます

INPUT SELECT ▸

6. セットボタンを押します

7. |◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"ANALOG"か"DIGITAL"を選びます

デジタル録音モードのときの表示

DIGITAL? ▸

アナログ録音モードのときの表示

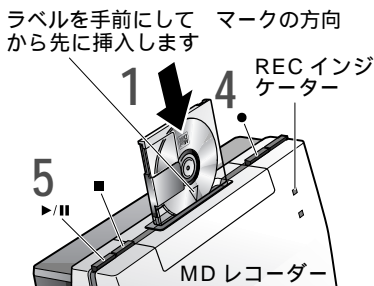
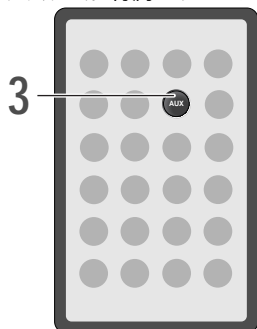
ANALOG? ▸

8. セットボタンを押して決定します

アナログ録音モードを選ぶと、**DIGITALインジケーター**が消えます。

注 意

◆ **録音モードは、次に変更するまで変わりません。**
アナログ録音モードで録音した後はオートデジタル録音モードに戻しておくことをおすすめします。

外部機器をＭＤに録音する

- 本機では、外部機器からの録音はアナログ録音となります。
- ＭＤは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。（２７ページ参照）
- 誤消去防止状態になっているＭＤには録音できません。（９ページ参照）

1. 録音したい機器の準備をします

外部機器の接続についてはX-ＮＳ１の取扱説明書をご覧ください。

2. 録音用のＭＤを入れます

途中から自動的に引き込まれます。
あらかじめ曲番号の設定（２１ページ参照）やモノラル長時間録音（２２ページ参照）の設定をしておきます。

3. AUX ボタンを押します

4. 録音ボタン(●)を押します

REC インジケーターが点灯して録音一時停止状態になります。

5. ＭＤ演奏／一時停止(▶/II)ボタンを押します

録音が開始されます。

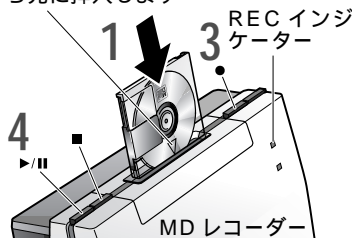
6. 手順１で選んだ機器の演奏を開始します

録音を一時停止するには....

演奏／一時停止(▶/II)ボタンを押します。
もう一度押すと、録音を再開します。

録音をやめるには....

ＭＤレコーダー本体の停止(■)ボタンを押します。

注 意

◆ **ＭＤの記録曲数は最大２５５曲です。ただし、録音、消去、編集を繰り返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。**

メ モ

▼ ＣＳ放送やＢＳ放送などから録音すると、CD からの録音に比べ音声レベルが低く録音される傾向があります。
これは、放送局から出される音声レベルが低いためで、故障ではありません。

マニュアルで録音する

- MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。（27 ページ参照）
- 誤消去防止状態になっている MD には録音できません。（9 ページ参照）

1. 録音用の MD を入れます

途中から自動的に引き込まれます。
あらかじめ曲番号の設定（21 ページ参照）やモノラル長時間録音（22 ページ参照）の設定をしておきます。

2. 録音したい機器を選びます

[FM/AM ラジオを録音する場合]
TUNER ボタンを押してから、 録音したい放送局を受信しておきます。

[CD を録音する場合]
CD ボタン（または CD-R ボタン）を押します。
CD チューナー（または CD レコーダー）の CD（または CD-R）演奏 / 一時停止(▶/II)ボタンを押して、一時停止にします。

[テープを録音する場合]
TAPE ボタンを押します。
TAPEボタン(またはカセットデッキの◀▶ボタン)を押したとき、演奏を始める面が逆の場合は、もう一度押すと逆の面が演奏されます。停止(■)ボタンを押してください。

3. 録音(●)ボタンを押します

REC インジケーターが点灯して録音一時停止状態になります。

4. MD 演奏 / 一時停止(▶/II)ボタンを押します

録音が開始されます。

5. 手順 2 で選んだ機器の演奏を開始します

録音を一時停止するには....

MD 演奏 / 一時停止(▶/II)ボタンを押します。
もう一度押すと、録音を再開します。

録音をやめるには....

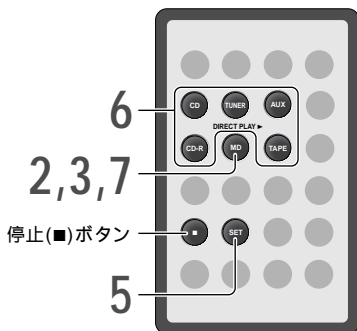
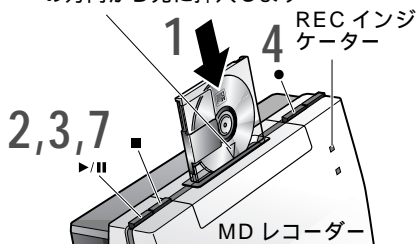
MD レコーダー本体の停止(■)ボタンを押します。

注 意

◆ **MD の記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集を繰り返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。**

曲の途中から続けて録音する

- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- 誤消去防止状態になっているMDには録音できません。（9ページ参照）

MDは自動的に録音されていない場所をさがして録音を開始します。しかし、すでに録音されている曲の途中からも続けて録音することができます。
この場合、あらたに録音をはじめた位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。
例えば、10曲録音されているMDにおいて、3曲目の頭からあらたに録音を少しでも開始してしまうと、3曲目以降の曲はすべて消えてしまい、あらたに録音した曲になります。ご注意ください。

ラベルを上（手前）にして△マークの方向から先に挿入します

システムに付属のリモコン

1. 録音用のMDを入れます

途中から自動的に引き込まれます。
あらかじめ曲番号の設定（21ページ参照）やモノラル長時間録音（22ページ参照）の設定をしておきます。

2. MDボタン（または本体のMD演奏/一時停止(▶/II)ボタン）を押します

MDの演奏が開始されます。

3. 演奏を聞きながら、録音を開始したい位置でMDボタン（または本体のMD演奏/一時停止(▶/II)ボタン）を押します

演奏が一時停止します。

4. 録音ボタン(●)を押します

OVERWRITE? ▸

5. セットボタンを押します

録音一時停止状態になります。
セットボタンを押した時点で、その位置以降の曲はすべて消えてしまいます。
録音を取り消す場合は、停止(■)ボタンを押します。

6. 録音したい機器を選んで演奏を開始します

外部機器を録音する場合は、AUXボタンを押してから、録音したい外部機器の演奏を開始します。

7. MDボタン（または本体のMD演奏/一時停止(▶/II)ボタン）を押します

録音がスタートします。

録音を一時停止するには....

MDボタン（または本体のMD演奏/一時停止(▶/II)ボタン）を押します。
もう一度押すと、録音を再開します。

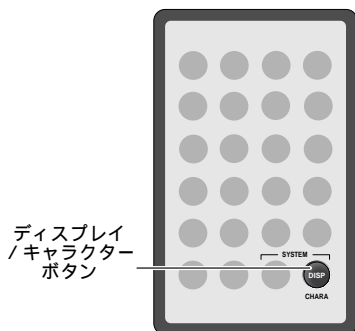
録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

表示を切りかえる

システムに付属のリモコン

ディスプレイ／キャラクターボタン

SYSTEM
DISP
CHARA

停止中の表示

①ディスク名をスクロール表示*

②総曲数/総演奏時間
(DISC TOTAL)

③録音可能時間
(REC REMAIN)

④現在の曜日と時間

⑤現在の日にち

曲を選択すると、①の表示は「曲名のスクロール表示」、②の表示は「曲番号/曲の演奏時間」になります。③の表示はでません。

録音中の表示

①録音中の曲名をスクロール表示*

②録音曲番/録音経過時間

③録音曲の曲番/録音可能時間
(REC REMAIN)

④現在の曜日と時間

⑤現在の日にち

ディスプレイ／キャラクターボタンを押します

押すごとに、以下のように表示内容が切りかわります。

演奏中の表示

＊ ディスク名や曲名が付いていないと、「NO NAME」と表示し②の表示に移ります。

①演奏中の曲名をスクロール表示*

②演奏曲の曲番/曲の演奏経過時間

③演奏曲の曲番/曲の残り時間
(TRK REMAIN)

④ディスクの演奏終了までの残り時間
(ALL REMAIN)

⑤現在の曜日と時間

⑥現在の日にち

表示例

名前表示（ディスクネーム / トラックネーム）

Jazz Music

総曲数 / 総演奏時間（DISC TOTAL）

MD 9 43:24

録音可能時間（REC REMAIN）

MD 62:56

演奏曲の曲番 / 曲の残り時間（TRK REMAIN）

TRK REMAIN

MD 3 12:02

ディスクの演奏終了までの残り時間（ALL REMAIN）

ALL REMAIN

MD AL 20:31

録音曲番 / 録音経過時間

MD 4 0:05

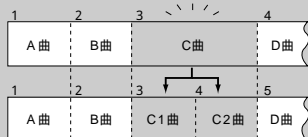
録音曲番 / 録音可能時間(REC REMAIN)

MD 4 62:56

現在の曜日と時間

Thu 13:20

現在の日にち

2000/10/12

MD の編集機能でできること

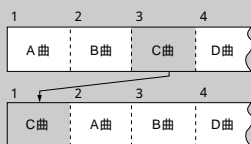
曲順を移動させたり、ディスクや曲に名前をつけたり、MD の編集機能を使うと、オリジナルのディスクを作ることができます。ただし、誤消去防止つまみが開いた MD(9 ページ参照)では編集メニューは使うことはできません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。
編集機能には次のようなものがあります。またアンドゥ機能（38 ページ参照）を使うと、1 つ前の編集作業をキャンセルすることができます。

曲を 2 つに分ける（デバイド機能）

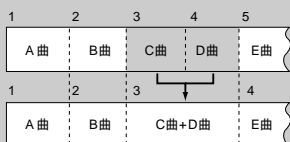
ひとつの曲を希望の位置で 2 つの曲に分けます。

- 1枚のMDで最大254曲まで曲を分けられます。ただし、253 曲以下でも曲を分けられないことがあります。
- 分けた曲以降の曲番は大きくなります。

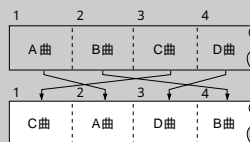
1 曲だけ移動する（ムーブ機能）

指定した曲を希望する場所へ移動します。

- 並べ換え後の曲番は自動的に調整されます。

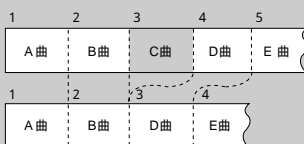
2つの曲を 1 曲にする（コンバイン機能）

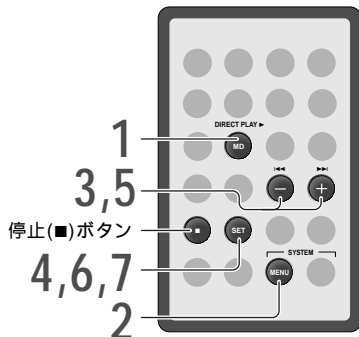
連続した 2 つの曲を、ひとつの曲にまとめます。

- まとめた曲以降の曲番は小さくなります。

曲を並べかえる（プログラムムーブ機能）

プログラム演奏で指定した曲順に、曲を並べかえます。

- 並べかえた後の曲番号は自動的に調整されます。プログラムした曲以外の曲番号も自動的に並べかわります。

曲を消す（トラックイレース／オールイレース機能）

指定した1曲、またはディスク内のすべての曲を消します。（ディスク名・曲名も消えます。）

- 消した曲以降の曲番は小さくなります。

ディスクや曲に名前をつける（ディスクネーム／トラックネーム機能）

ディスク全体の名前、曲ごとの名前がつけられます。再生中や頭出し時に表示されるため、曲の確認がすばやくできます。

TAKE FIVE

- カタカナ、英文字 (大文字／小文字)、数字、記号が使用できます。

曲を 2 つに分ける

デバイド機能といいます。
1つの曲を2つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
また、分けた曲に曲名がついていた場合は、両方に同じ名前がつきます。

システムに付属のリモコン

1. **演奏を聞きながら、曲の分けたい位置でMDボタン(本体のMD演奏/一時停止(►/II)ボタン)を押します**

演奏が一時停止します。

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **I◄◄ ボタンまたは ►►I ボタンを押して、"MD MENU"を選びます**

MD MENU ►

4. **セットボタンを押します**

5. **I◄◄ ボタンまたは ►►I ボタンを押して、"DIVIDE"を選びます**

DIVIDE ►

6. **セットボタンを押します**

確認の表示になります。
やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

DIVIDE OK? ►

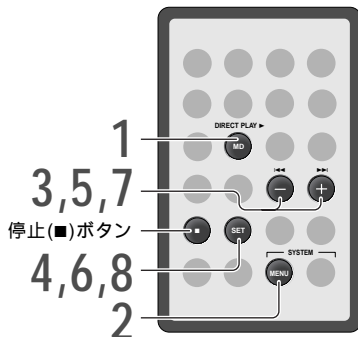
7. **セット(SET)ボタンを押して決定します**

"COMPLETE"の表示が出て、デバイド機能を実行します。

COMPLETE ►

メ モ

▼ デバイド機能で入れ替わったMDの曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

1 曲だけ移動する

ムーブ機能といいます。

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。

例） 4 曲目を 6 曲目に移動する場合

1. 移動したい曲が演奏中に、MDボタン(本体のMD演奏 / 一時停止(▶/II)ボタン)を押します

MD停止中に、I◀◀ ボタンまたは▶▶Iボタンを押して移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

4 曲目を移動するときの例

MD 4 4:12

2. システムメニューボタンを押します

3. I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、"MD MENU" を選びます

MD MENU

4. セットボタンを押します

5. I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、"MOVE" を選びます

MOVE

6. セットボタンを押します

確認の表示になります。

やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

MOVE 4→ 1?

7. I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、移動先の曲番号を選びます

例の場合は、6 を選びます。

MOVE 4→ 6?

8. セット(SET)ボタンを押して決定します

"COMPLETE" の表示が出て、ムーブ機能を実行します。

COMPLETE

メ モ

▼ ムーブ機能で入れ替わった MD の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

2つの曲を1曲にする

コンバイン機能といいます。
連続したとなり同士の曲をつないで、1曲にまとめます。つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。つないだ曲に曲名がついている場合は､前の曲の曲名がつきます。前の曲名がついていない場合は後の曲名がつきます。

例） 3曲目と4曲目をつなぐ場合

システムに付属のリモコン

1. **つなぐ曲で曲番号の大きい方の曲が演奏中に、MDボタン(本体のMD演奏/一時停止(►/II)ボタン)を押します**

演奏が一時停止します。
例の場合は、4曲目を選びます。

MD　4　4:12

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU"を選びます**

MD MENU

4. **セットボタンを押します**

5. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"COMBINE"を選びます**

COMBINE

6. **セットボタンを押します**

確認の表示になります。
やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

COMB　3+ 4?

7. **セットボタンを押して決定します**

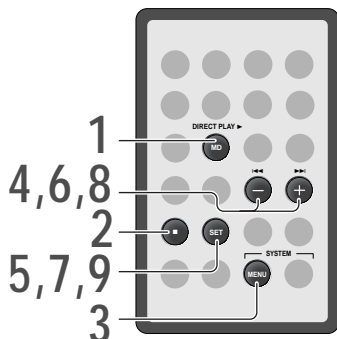
"COMPLETE"の表示が出て、コンバイン機能を実行します。

COMPLETE

注 意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ ステレオ録音した曲とモノラル長時間録音した曲は、つなぐことができません。
◆ 15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

メ モ

▼ コンバイン機能で入れ替わったMDの曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（30ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

曲を並べかえる

プログラムムーブ機能といいます。
MDの好きな曲を好きな順番に登録してからムーブ機能を使うと、一度に曲順を並べかえることができます。

システムに付属のリモコン

1. **MD ボタンを押します**

2. **停止(■)ボタンを押します**

3. **システムメニューボタンを押します**

4. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"MD MENU" を選びます**

MD MENU

5. **セットボタンを押します**

6. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、"PROGRAM" を選びます**

PROGRAM

7. **セットボタンを押します**

P01　0:00　PGM

プログラムステップ数　積算演奏時間

8. **|◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、聞きたい曲を選びます**

3　3:43　PGM

曲番号　曲番号の演奏時間

9. **セットボタンを押します**

曲番号

P01　3　PGM

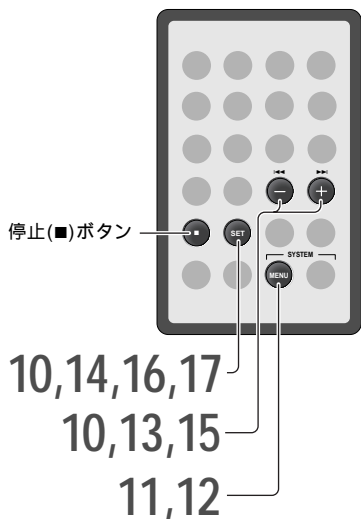
P02　3:34　PGM

プログラムステップ数　積算演奏時間

システムに付属のリモコン

注 意

◆ プログラム登録しなかった曲は、プログラムムーブで並べかえた曲のうしろに並びます。

◆ 同じ曲を 2 回以上プログラム登録しているときは、うしろにプログラムされた曲が優先されます。

10 手順 8 と 9 を繰り返して、好きな曲を聞きたい順番に登録する

25 曲以上は登録することはできません。

[登録する曲を間違えた場合]

キャンセルボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順番に消えていきます。

11 システムメニューボタンを押します

P09 63:40 PGM

12 システムメニューボタンを押します

13 |◀◀ ボタンまたは ▶▶| ボタンを押して、"MD MENU" を選びます

MD MENU PGM

14 セットボタンを押します

15 |◀◀ ボタンまたは ▶▶| ボタンを押して、"PGM MOVE" を選びます

PGM MOVE PGM

16 セットボタンを押します

確認の表示になります。

やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

PGM MOVE? PGM

17 セットボタンを押して決定します

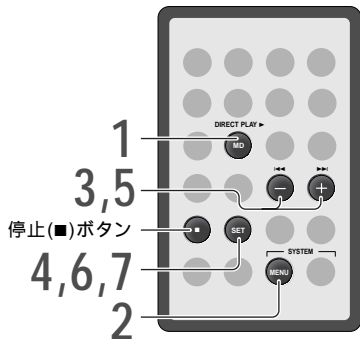
"COMPLETE" の表示が出て、プログラムムーブ機能を実行します。

COMPLETE

メ モ

▼ プログラムムーブ機能で入れ替わった MD の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

曲を消す

システムに付属のリモコン

1 曲だけ消す（トラックイレース）

選択した一つの曲と名前だけを消します。
消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

1. **消したい曲の演奏中に、MD ボタン(本体の MD演奏 / 一時停止(▶/II)ボタン)を押します**

演奏が一時停止します。
MD停止中に、I◀◀ ボタンまたは▶▶Iボタンを押して、消したい曲を選択することもできます。

MD 4 4:12

4 曲目を消すときの例

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、"MD MENU" を選びます**

MD MENU

4. **セットボタンを押します**

5. **I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、"TRK ERASE" を選びます**

TRK ERASE

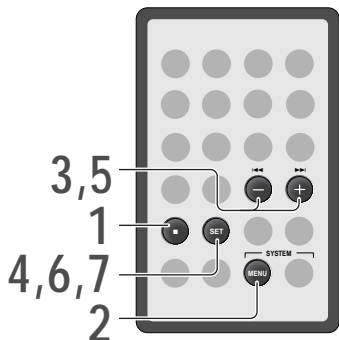
6. **セットボタンを押します**

確認の表示になります。
やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

ERASE 4?

7. **セットボタンを押して決定します**

"COMPLETE" の表示が出て、曲を消します。

COMPLETE

全曲を消す（オールイレース）

ディスクの全曲を消します。ディスク名や曲名も、すべて消えてしまいます。

システムに付属のリモコン

3,5
1
4,6,7
2

SYSTEM
SET
MENU

1. **停止(■)ボタンを押します**

表示部の内容が、総曲数 / 総演奏時間表示になります。

- 総曲数表示の例

MD 9 43:24

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU"を選びます**

MD MENU

4. **セットボタンを押します**

5. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"ALL ERASE"を選びます**

ALL ERASE

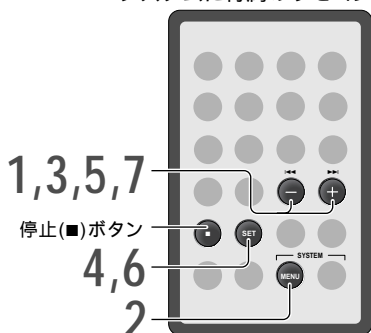
6. **セットボタンを押します**

確認の表示になります。
やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

ALL ERASE?

7. **セットボタンを押して決定します**

"COMPLETE"の表示が出て、すべての曲を消します。

COMPLETE

ディスクや曲に名前をつける

- 1枚のディスクには、ひとつのディスク名と最大255曲の曲名をつけることができます。1つの名前に対して、それぞれ100文字まで入力できます。
- ディスク名と曲名を合わせて約1792文字まで入力できます。文字数をこえると"NAME FULL"(ネイム フル)が表示されます。カタカナを入力しているときは、総文字数が減ります。
- ディスクに名前をつけることを**ディスクネーム機能**、曲に名前をつけることを**トラックネーム機能**といいます。

システムに付属のリモコン

1. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、名前をつけたい曲を選択します

演奏中または録音中にも名前をつけることができます。

[ディスクに名前をつける場合]
停止(■)ボタンを押します

2. システムメニューボタンを押します

3. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU" を選びます

MD MENU

4. セットボタンを押します

5. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"DISC NAME"または"TRACK NAME"を選びます

曲名のときは、"TRACK NAME" を選びます

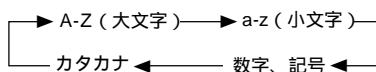
TRACK NAME

ディスク名のときは、"DISC NAME" を選びます

DISC NAME

6. セットボタンを押します

7. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンで、入力する文字を選びます

J

"J" を選んだときの例

■使える文字の種類

- アルファベット（大文字）：
  ABCDEFGHIJKLMNOPQ
  RSTUVWXYZ.,'/ □（空白）
- アルファベット（小文字）：
  abcdefghijklmnopqrstuv
  wxyz.,'/ □（空白）
- 数字、記号：
  0123456789!"#$%&'()∗
  +,－. /:;<=>?@_` □（空白）
- カタカナ：
  アイウエオカキクケコサシス
  セソタチツテトナニヌネノハ
  ヒフヘホマミムメモヤユヨラ
  リルレロワヲンァィゥェォャ
  ュョッ゛゜ ー□（空白）

システムに付属のリモコン

[文字の種類をかえる場合]

システムディスプレイ / キャラクターボタンを押します

A-Z（大文字）→ a-z（小文字）→ 数字、記号 → カタカナ →

8. セットボタンを押して決定します

J

入力した文字を間違えた場合は、◄◄ボタンを押すと入力位置（点滅）が左に移動しますので、移動させてから新しく入力し直してください。

[途中で文字の入力をやめる場合]

停止(■)ボタンを押します。

9. 手順7、8を繰り返してすべての文字を入力します

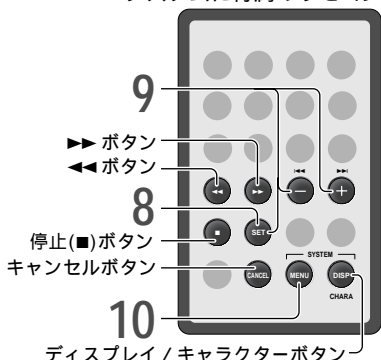
Jazz Music

演奏 / 録音中にトラックネームを入力していて、ネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。演奏/録音が終ってからつづきを入力してください。

10 システムメニューボタンを押して終了します

入れた文字を変更したいときは…

文字入力中に ◄◄、►► ボタンを押して、変更したい位置を点滅させて、文字を選んで ►► ボタンを押します

新しく文字を追加したいときは…

文字入力中に ◄◄、►► ボタンを押して、追加したい位置を点滅させて、文字を選んでセットボタンを押します

入れた文字を削除したいときは…

文字入力中に ◄◄、►► ボタンを押して、削除したい位置を点滅させて、文字を選んでキャンセルボタンを押します

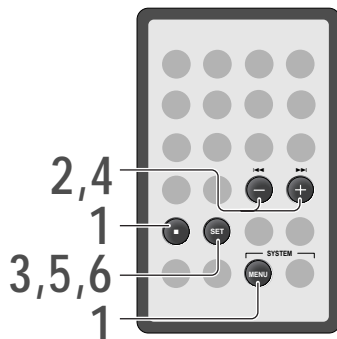
- 入力した名前を消去する場合は、入力したすべての文字を削除します。"NO NAME" となります。

編集をキャンセルする

編集操作を行った後で、1つ前の編集作業をキャンセルすることができます。**アンドゥ機能**といいます。

キャンセルできる編集の種類

- デバイド機能
- コンバイン機能
- ムーブ機能
- プログラムムーブ機能
- トラック / オールイレース機能
- MD 停止中のネームの機能

システムに付属のリモコン

キャンセルできなくなる編集の種類

この操作を行うと"Can't UNDO"と表示され、キャンセルできなくなります。

- MD の取り出しを行ったとき
- 電源をオフにしたとき
- 停電が発生したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき
- 曲の途中から録音する場合、録音開始前の録音一時停止中に停止(■)ボタンを押したとき

操作手順

1. **MD 停止中に、システムメニューボタンを押します**

2. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"MD MENU" を選びます**

MD MENU

3. **セットボタンを押します**

4. **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、"UNDO" を選びます**

UNDO

5. **セットボタンを押します**

確認の表示になります。
やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

UNDO?

6. **セットボタンを押して決定します**

"COMPLETE" の表示が出て、アンドゥ機能を実行します。

COMPLETE

こんな表示が出たときは

表　示	意　味	処　置
ノー　ディスク NO DISC	● MD が入っていない。 ● MD のデータが読めない。	● MD を入れる ● MD をもう一度入れ直す。
ディスク　エラー DISC ER ※ ※は数字や記号です。	● ディスクにキズがついている。 ● TOC が MD に書き込まれていないが、データに異常がある。	● MD をもう一度入れ直す。 ● 他の MD と取り換える。
ディスク ?DISC	● データに異常がある。規格外の MD である。	● 他の MD と取り換える。
ディスク　フル DISC FULL	● MD に録音できる空きがない。	● 他の録音用 MD と取り換える。
ブランクディスク MD BlankDISC	● 何も記録されていない。 （音楽のディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音された MD と取り換える。
プレイバック Playback MD	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用MDと取り換える。
プロテクテッド PROTECTED	● MD が誤消去防止状態になっている。	● 誤消去防止状態をもとに戻す。
トック　フル TOC FULL	● 曲番や文字情報（ディスク名／曲名など）を登録する空きがない。	● 他の録音用 MD と取り換える。
キャント　レコ Can't REC	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MD を換えてみる。
テンプ　オーバー TEMP OVER	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく休ませる。
キャント　エディット Can't EDIT	● 編集できない。	● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
ネーム　フル NAME FULL	● ディスク名／曲名を登録する空きがない。	● ディスク名／曲名を短くする。
デフェクト DEFECT	● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。	● 他の録音用 MD と取り換える。
メカ　エラー MECH E ※ ※は数字や記号です。	● MD が正しく働いていない。	● 電源を入れ直して、取り出しボタンを押す。
キャント　コピー Can't COPY	● コピー禁止のものからデジタル録音しようとした。	● コピー可能なもの（一般の CD など）に換える。 ● アナログ録音にする。
ノット　オーディオ NotAUDIO	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● 他の曲を選ぶ。 ● MD を取り換える。
ユートック　エラー UTOC ER ※ ※は数字や記号です。	● ショックやディスクのキズで TOC 情報が正しく作成できない。	● 他の MD と取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
トック　エラー TOC ERR ※ ※は数字や記号です。	● 記録されている TOC 情報が MD の規格に合っていなかったり、読めない。	● 他の MD と取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
デーイン　アンロック DinUNLOCK	● デジタル入力のとき、正常な信号が入力されない。	● デジタル入力端子に正しく接続されているか確認する。

➡「故障？ちょっと調べてください」もご覧ください（40 ページ）。

故障？ちょっと調べてください

● 故障かな・・・？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原因と思われること	処　置
音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● CDチューナーの入力切換が正しく選択されていない。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。
録音ができない。	● MD が誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用 MD を入れている。 ● TOCがいっぱいになっている。（録音、編集を繰り返すと、このようになることがあります。） ● 光ケーブルが正しく接続されていない。	● 誤消去防止つまみを閉じる。 ● MD を入れかえる。 ● 全曲消去を行えば新たに録音できます。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。
モノラルで録音されてしまう。	● モノラル長時間モードになっている。	● 録音モードをステレオモードにする（26 ページ）。
MD を入れても " NO DISC " と表示される。	● ディスクにキズが付いている。	● MD を交換する。
音がとぎれる。	● MD レコーダーが結露している。	● 1 時間程待ってから再生する。
短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	● 12秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。	● 故障ではありません。
録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	● 最小録音単位が2秒のため、これに満たない曲でも 2 秒のスペースを使っているので合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。	● 故障ではありません。 ● MD を交換する。
曲と曲をつなげない。	● 録音、編集を繰り返したディスクでこのようになることがある。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ● ステレオ録音とモノラル録音した曲をつなごうとしている。	● 故障ではありません。 ● デジタル録音の曲とアナログ録音の曲はつなげません。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲は、つなげません。

表示については 39 ページにも説明がありますので、ご覧ください。

● テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
● 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。
性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

39 〜 40 ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- 電話番号
- 製品名：ミニディスクレコーダー
- 型番：MJ-NS1
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問のご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
再生方式 .... 非接触光学式
入力サンプリング周波数 .... 44.1 kHz、32 kHz、48 kHz
周波数特性 .... 20 Hz～20 kHz
ワウフラッター .... 測定限界以下
電源 .... 直流
外形寸法（スタンドを取り外した状態で）
.... 170（幅）×268（高さ）×66（奥行）mm
本体質量 .... 1.5 kg

付属品

光ケーブル 1
スタンド A 1
スタンド B 1
取扱説明書（本書）.. 1
保証書 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
安全上のご注意 1

● 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

著作権について

● 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
● 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
● 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

本　部	TEL	03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL	011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL	019(652)3201	(代表)
仙台支部	TEL	022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL	026(225)7111	(代表)
大宮支部	TEL	048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL	03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL	03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL	03(3232)8301	(代表)
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL	03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL	042(529)1500	(代表)
横浜支部	TEL	045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL	054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL	052(586)7590	(代表)
北陸支部	TEL	076(221)3602	(代表)
京都支部	TEL	075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL	06 (6244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL	06 (6244)7077	(代表)
神戸支部	TEL	078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL	082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL	087(821)9191	(代表)
九州支部	TEL	092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL	099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL	098(863)1228	(代表)

（2000年5月現在）

各部のなまえ

MD挿入口

停止ボタン（■）

演奏／一時停止ボタン（▶/II）

スタンドB

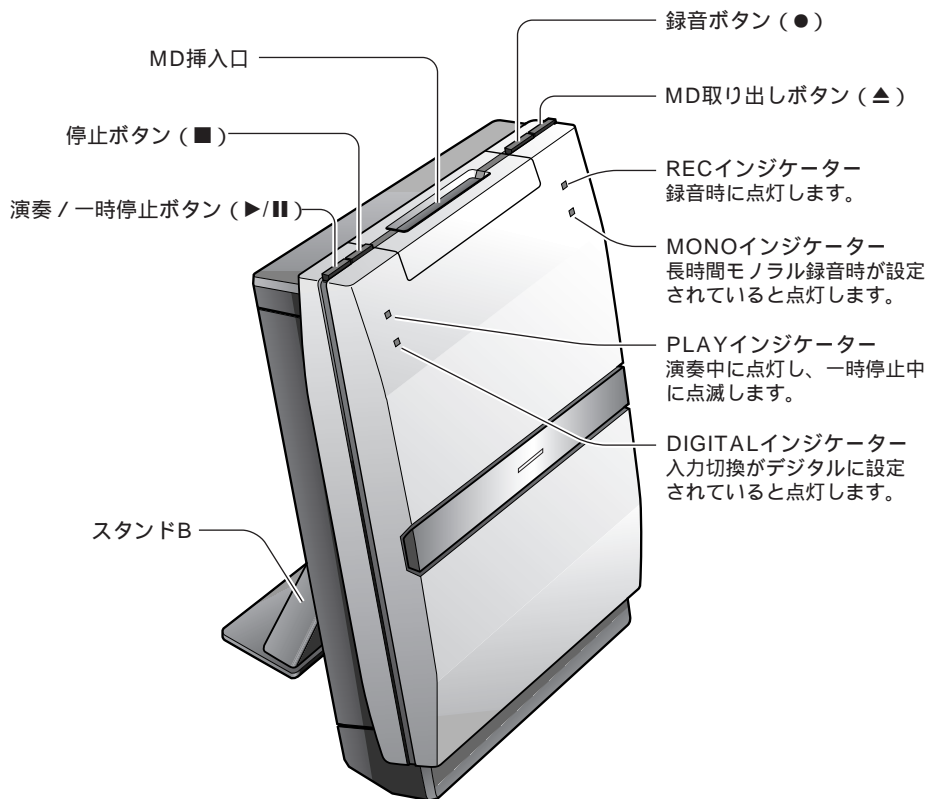
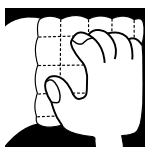
録音ボタン（●）

MD取り出しボタン（▲）

RECインジケーター
録音時に点灯します。

MONOインジケーター
長時間モノラル録音時が設定されていると点灯します。

PLAYインジケーター
演奏中に点灯し、一時停止中に点滅します。

DIGITALインジケーター
入力切換がデジタルに設定されていると点灯します。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 〜 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター
●家庭用オーディオ／ビジュアル製品のお問い合わせ窓口　0070-800-8181-22
●カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

<ご注意>　●PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
●修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<00E00ZF0H01>
<ARA7108-A>